世界の暮らしが見える
物価ウオッチング

中南米編
メキシコ市　リマ

コンビニが飽和状態になりつつあるメキシコ市。
リマでは最近、スペイン語にまぎれて現地語のケチュア語やアイマラ語の看板が目立つ。
メキシコ、ペルーの消費事情の変化が見える。

■メキシコの基礎経済指標

＊1人当たりGDP
1万153ドル（2011年）〔出所 IMF〕

＊人口
1億1,234万人（2011年）〔出所 国立地理統計院（INEGI）〕

＊消費者物価（CPI）上昇率
3.82％（2011年）〔出所　同上〕

＊外資系（日系）企業事務系スタッフ
月額給与水準（賞与・諸手当込み）
860ドル程度〔出所 在墨米国商工会議所調査〕

■ペルーの基礎経済指標

＊1人当たりGDP
6,260ドル（2010年）〔出所 国家統計院（INEI）〕

＊人口
2,822万人（2011年）〔出所 同上〕

＊消費者物価（CPI）上昇率
3.37％（2011年）〔出所　同上〕

＊外資系（日系）企業事務系スタッフ
月額給与水準（賞与・諸手当込み）
1,100ドル程度〔出所 ジェトロ調べ〕

メキシコ市 Mexico City

メキシコのコンビニ事情

赴任して1カ月ほどホテル暮らしをした頃、目の前のセブンイレブンをよく利用した。日本のようには品ぞろえは豊富でない。ホットコーヒー（10ペソ、約60円～）はあるが、出来たてでない限り酸化が激しくて飲めない。それでもビールとサンドイッチはいつでも手に入った。スーパーで1缶11ペソ（約66円）程度のビールが13～14ペソ（約78円～84円）と若干割高だが、便利だった。

コンビニは公共料金などの支払いが24時間可能、歩いて行ける距離にあるといった便利さが忙しい人々に受け入れられているようだ。コンビニに押され、昔ながらの露店や雑貨商店は淘汰（とうた）されているらしい。

メキシコのコンビニ業界でトップを走るのはオクソ（OXXO）だ。2011年末の店舗数は約1万弱。売り上げは約730億ペソ（約4,380億円）で他の追随を許さない。親会社はビールやコカ・コーラを含む炭酸飲料製造のフェムサ（FEMSA）。ただし、ビール部門はハイネケンに譲渡し、現在は提携先として強い関係にある。国営石油公社が運営するガソリンスタンドになかなか参入できない他社を尻目に、ここに併設型の店舗を展開した戦略も奏功したようだ。

オクソに続くのがセブンイレブン。セブンアイホールディングスと地場資本グルーポ・チャパの合弁だ。11年末で1,402店舗、売り上げは約108億ペソ（約648億円）。業界2位と言ってもオクソの7分の1程度の規模。その他に地場スーパー大手ソリアナのコンビニ部門「スーパーシティー」やフェムサと同じビール大手モデロが持つ「エクストラ」などがある。とはいえ、コンビニは大都市では飽和状態になりつつある。これまで店舗展開が少なかった人口10万人規模の地方都市を開拓したり、自社ブランドを開発して独自色を出すなど、各社競争には工夫を凝らしているようだ。

（中島　伸浩／ジェトロ　メキシコ事務所）

物価データ

2012年8月1日　調査日の現地通貨レート：1ペソ=5.86円

品目名	数量	販売価格 ペソ	販売価格 円換算	備考	調査場所
主食（トルティーヤ）	1kg	11.9	70		スーパー「スペラマ」
卵	1パック（12個）	22.3	131		同上
牛肉	100g	9.9	58		同上
しょうゆ	1ℓ	91	533	『キッコーマン』	ショッピングサイト「エウロパ・オンライン」
ハンバーガー	1個	42	246	『ビッグマック』	マクドナルド
ミネラルウオーター	1ℓ	9	53	『ペニャフィエル』	スーパー「スペラマ」
ビール	350mℓ	10.8	63	『コロナ』	同上
トイレットペーパー	4個	24.2	142	『クリネックス』	同上
ジーンズ	メンズ	729	4,272	『リーバイス501』	百貨店「リーベルプール」
電気料金	200kWh	202	1,184	家庭用	電力公社
ガソリン	レギュラー1ℓ	10.36	61		ガソリンスタンド「ペメックス」
タクシー	昼間5km	56	328		タクシー会社「パルマス」
携帯電話	基本料金／月	197	1,154	プラン名「マス・ポル・メノス」	通信事業者「テルセル」
	通話料金／分	1.19	7	同事業者間の場合	
アパート賃貸料	家具付き1カ月（居住面積:200㎡）	50,000	293,000	外国人用	ポランコ地区
自動車（新車）	1台	315,100	1,846,486	『カムリ』	トヨタ正規ディーラー
映画鑑賞	ロードショー1本	58	340	『スパイダーマン』3D	シネポリス
ゴルフ・ラウンドフィー	1ラウンド	3,500	20,510	平日	メヒコ・ゴルフクラブ
ベビーシッター	1時間	75	440		派遣会社「ササモールS.A.」

リマ Lima

自国の良さを見直す

ペルーの日常会話はスペイン語である。最近、街を歩くと「Yaku Mikuna（ヤク・ミクーナ）」（ペルー料理のファストフード店）のほか、「Thaya（ターヤ）925」（ペルー産シルバーアクセサリーの店）、「Sthika（スティーカ）」（美容院）など、スペイン語起源ではない店名の看板が目立つ。これらは16世紀のスペインによる征服前から使われているケチュア語やアイマラ語だ。リマっ子は理解できないにもかかわらず、今、なぜケチュア語やアイマラ語なのか――。今年誕生したばかりの「ヤク・ミクーナ」で、ペルー名物チチャロン・サンド（豚肉の煮込みをパンに挟んだもの）とコーヒーのセット（15ソル、約450円）を味わいながら、その理由を考えてみた。

店内

手がかりになる調査結果がある。民間調査会社GRMが経営者を対象に今年7月に実施したアンケートだ。「あなたは国民が以前よりもペルーを好きになっていると思うか」との問いに対して、67%が「そう思う」と答えている。また「国民は何を誇りに思っていると考えるか」との問いには、「（文化や歴史など）ペルー固有のもの」との回答が最も多かった。これは世界経済の行方が不透明な中、かつてない経済成長を維持する自国に誇りを感じる人々が増えているとはいえないだろうか。

一方、個人消費は活発だ。調査会社Gfkが同じ7月に実施した世論調査では、今後1年間の家計見通しについて、「大変良くなる」「良くなる」という回答が29.9%、「変わらないと思う」が54.6%だった。合わせて8割以上が今後の消費に楽観的だ。消費意欲が旺盛な国民に訴えるマーケティング戦略として、自国の誇りを「取り込む」ために、社名や商品名にケチュア語やアイマラ語を用いるペルー企業が増えている、とは考え過ぎだろうか。

（石田　達也／ジェトロ　リマ事務所長）

物価データ

2012年8月15日　調査日の現地通貨レート：1ヌエボ・ソル=30.2円

品目名	数量	販売価格 ヌエボ・ソル	販売価格 円換算	備考	調査場所
主食（コメ）	1kg	3.99	120	『パイサナ』（地場産・長粒米）	スーパー「ウォン」ドスデマヨ店
卵	1パック（12個）	7.85	237	『ドニャ・アンヘリカ』	同上
牛肉	100g	3.25	98	サーロイン	同上
しょうゆ	500㎖	3.5	106	『アジノシジャオ』	同上
ハンバーガー	1個	5.5	166	『ビッグマック』	マクドマルド
ミネラルウオーター	1ℓ	2.2	66	『サンルイス』	スーパー「ウォン」ドスデマヨ店
ビール	350㎖	2.9	88	『クスケーニャ』	同上
トイレットペーパー	1個	0.7	21	『エリート』	雑貨店「ボデガ」ブエブロリブレUAP前
ジーンズ	メンズ	35	1,057	『アンロック』	百貨店「オエシュレ」プリマベラ店
電気料金	200kWh	87.62	2,646	維持費、税込	電力会社「ルスデルスル」
ガソリン	レギュラー1ℓ	3.8	115		ガソリンスタンド「プリマックス」ハビエルプラドオエステ店
タクシー	昼間5km	12	362	※メーター無し。交渉による。	カミノレアル通り
携帯電話	基本料金／月	68.67	2,074	スマートフォン『Ti69』プラン	通信事業者「クラーロ」
	通話料金／分	0.39	12		
アパート賃貸料	家具付き1カ月（居住面積:145㎡）	6,550	197,810	外国人用	サンイシドロ区
自動車（新車）	1台	78,600	2,373,720	『RAV4』（四輪駆動）	「ミツイアウトモトリス」モリーナ本店
映画鑑賞	ロードショー1本	20	604	『エージェント・マロリー』	「シネプラネット」ミラフローレス店
ゴルフ・ラウンドフィー	1ラウンド	370	11,174	週末。キャディー代含む	プラニシエ・カントリークラブ
ベビーシッター	1カ月	1,200	36,240		派遣会社「ホームプレミアムセレクション」ミラフローレス店